

2017年（平成29年）6月26日（月曜日）

(19) 地域

（第3種郵便物認可）

賢治詩碑より身近に

盛岡一高 O.B.団体 説明板設置し除幕

盛岡

盛岡一高（川上圭一校長、生徒845人）の1967年卒業同期会・疾風会（堀合英則会長）は、盛岡市上田の同校玄関近くにある宮沢賢治の一生徒諸君に「寄せる」の詩碑の隣に説明板を設置し25日、除幕式を行った。

県内外の同期生約60人と同校応援団の生徒らが出席。除幕に続き、矢部魁一団長（3年）らが旗を振りながら校歌を斉唱し、O.B.も拳を振って声を合わせた。説明板は、ステンレス製の銘板（縦45センチ、横28センチ）に詩の説明文と賢治の写真を刻み、高さ1・5メートルの青色の金属板に取り付けた。

詩碑は96年に同校O.B.の建設業関係者でつくる白聖建設会が建立し、詩の一節「諸君はこの颯爽たる 諸君の未来圏から吹いて来る 透明な清潔な風を感じないのか」を右に刻んだもの。疾風会は卒業50周年記念として説明板を設け、賢治が盛岡中学（現盛岡一高）で学び、詩は同校校友会雑誌から寄稿を求められて下書



宮沢賢治の「生徒諸君に寄せる」の詩碑（左）の隣に設置した説明板を示す堀合英則会長（右から2人目）

きしたことなどを記した。堀合会長は「母校への恩返し。賢治のエールを生徒にしっかり受け止めてもらいたい」と語り、同建設会の小川惇・前会長も「（詩碑に込めた）願いが一層強くなった」と喜んだ。O.B.でもある川上校長は「大切にしていこう」と感謝した。